

AT車のエンスト注意

坂道でシフト操作誤ると…AT車もエンスト注意

2014/5/6 0:08

オートマチック（AT）車でもエンスト一。

急な上り坂でAT車のシフトレバーを「D（前進）」レンジにしたまま後ろに下がったり、下り坂で「R（後退）」で前に進んだりすると、エンジンが停止して**事故につながる**恐れがあるとして、国土交通省が注意を呼び掛けている。

シフト操作による**エンジンの動力伝達方向と車輪の回転が逆**になると、**過大な負荷**がかかって**エンジンは止まり**、さらに**ブレーキやパワーステアリングの利きが悪くなる**。こうしたトラブルが2011～13年、メーカーから計111件報告されており、委託を受けた交通安全環境研究所（東京）が詳しく調べた。

それによると、**坂道でエンスト**し、ドライバーが**焦ってブレーキを数回踏む**と、ブレーキを踏む力を補助する「**倍力装置**」のパワーが減り、**ブレーキペダルが硬くなって停車しにくくなる**。

また油圧式パワステのAT車が坂道でエンストすると、ハンドル操作を補助する力が減り、**ハンドルが重く、切りにくくなる**。

これらが原因で**衝突**や**転落事故**につながり、**死亡**したケースもあった。

国交省担当者は「**坂道ではシフトレンジを確認して運転するのが大事**」とくぎを刺す。

仮にブレーキペダルやパワステがおかしくなっても慌てず、**いつも以上の力でペダルを踏み込み、ハンドルを強く握れば、安全に停車、操作できるとアドバイスする**。

押しボタンでエンジンを始動する車でも、**エンジンをかけずに坂道を走行**したトラブルが40件あった。

ブレーキを踏むなどしてボタンを押すと始動するが、ボタン操作だけでも**警告灯やカーナビ画面が点灯**するため、**始動したと勘違いしたとみられる**。